

事務事業実績測定調査

事務事業名称	国民健康保険運営協議会運営事務															
測定年度	2021(R3)年度				部	市民生活部				課	国民健康保険課					
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4								
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち													
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち													
	実行計画名															
1. 事務事業の概要																
種類	内部管理			特性			庶務的事務			区分		庶務的内部管理事務				
事業期間	不明				年度	~		年度まで								
根拠法令等	国民健康保険法、枚方市国民健康保険条例															
関係補助金名称											サンセット					
関係附属機関名称	国民健康保険運営協議会															
事業対象	メインターゲット		国民健康保険運営協議会													
	サブターゲット															
	ターゲットが抱える課題		国民健康保険運営協議会が円滑に運営できない。													
	ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	国民健康保険運営協議会が円滑に運営できる。															
事業概要	協議会の開催は年2回程度で、市長からの諮問事項および国保事業の運営状況などについて審議・協議を行う。 委員構成(定数20人・任期3年):被保険者代表6人、保険医・薬剤師代表6人、公益代表6人、被用者保険代表2人															
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)					インプット(活動)					
指標設定	指標説明		アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)					インプット(活動)			
			単位				単位				単位					
	指標種類															
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
		目標(見込み)														
		実績														
達成度																
分析																

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	19.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,806	3,988	3,929		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	354	0	0		
	特別職非常勤	—	297	0		
	附属機関委員	—	0	316		
	人件費計	3,160	4,285	4,245		
	物件費計	0	0	2	5	40%
	歳出計	3,160	4,285	4,247		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	3,160	0	2	5	

5. 総括的分析

総括的分析	2021年度(令和3年度)協議会開催実績:2回(9月・2月)。9月は新型コロナウイルス感染防止のため、書面による開催とした。 国民健康保険に係る状況の報告、国民健康保険制度改革に係る内容の報告や令和4年度の保険料賦課総額等について諮問を行い、答申を受けた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今年度は、9月および2月の協議会開催を予定。

事務事業実績測定調査

事務事業名称													国民健康保険特別会計繰出金事務												
測定年度				2021(R3)年度					部		市民生活部				課		国民健康保険課								
市長公約との関係				所信表明			市政運営方針		R2		R3		R4												
総合計画体系				基本目標			2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち																		
				施策目標			6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち																		
				実行計画名																					
1. 事務事業の概要																									
種類		内部管理			特性			庶務的事務			区分			庶務的内部管理事務											
事業期間		不明			年度		~						年度まで												
根拠法令等		国民健康保険法、枚方市国民健康保険条例、枚方市国民健康保険条例施行規則																							
関係補助金名称		サンセット																							
関係附属機関名称																									
事業対象		メインターゲット		75歳未満の市民で他の医療保険の被保険者・被扶養者でない人(生活保護受給者を除く)																					
		サブターゲット																							
		ターゲットが抱える課題		職場等のいずれの健康保険にも加入していない市民は国民健康保険に加入しなければならない																					
		ターゲットが抱える課題																							
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		国民健康保険を適正に運営し、加入者に対する医療給付を行うとともに健康の保持増進のための取り組みを推進できている																							
事業概要		国保特会への法定繰入分として、保険基盤安定制度(保険料軽減分、保険者支援分)、国保財政安定化支援事業、出産育児一時金、事務費について繰出しを行う。その他に、市独自として保険料軽減措置補填分、広域化準備財政安定分を繰り出す。																							
2. ロジックモデル及び指標設定																									
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)					インプット(活動)													
指標設定		指標説明		アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)					インプット(活動)											
		指標種類		単位		単位		単位		単位		単位		単位											
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5										
		目標(見込み)																							
		実績																							
		達成度																							
分析																									

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	802	2,791	2,357		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	802	2,791	2,357		
	物件費計	3,615,479	3,718,946	3,734,253	3,781,097	99%
	歳出計	3,616,281	3,721,737	3,736,610		
歳入	国庫支出金	422,709	436,804	499,459	497,116	
	府支出金	1,406,576	1,471,791	1,476,678	1,476,677	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	553,580	554,288	
	歳入計	1,829,285	1,908,595	2,529,717	2,528,081	
	一般財源	1,786,996	1,810,351	1,204,536	1,253,016	

5. 総括的分析

総括的分析 累積赤字額については、平成29年度においてすべて解消することができた。
 令和3年度については、大阪府国民健康保険運営方針を踏まえ、法令や国の通知等に基づかない一般会計からの繰り入れは行っていない。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、今後の社会情勢、大阪府が示す方針や一般会計・国民健康保険特別会計の財政状況を勘案しながら、対応する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称													国民健康保険料賦課徴収事務												
測定年度				2021(R3)年度				部		市民生活部				課		国民健康保険課									
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4															
総合計画体系		基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち																					
		施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち																					
		実行計画名																							
1. 事務事業の概要																									
種類		市民サービス				特性				非選択的的事业				区分		非選択的の事務事業									
事業期間		不明				年度		~		年度まで															
根拠法令等		国民健康保険法、枚方市国民健康保険条例、枚方市国民健康保険条例施行規則																							
関係補助金名称		サンセット																							
関係附属機関名称																									
事業対象		メインターゲット		枚方市国民健康保険被保険者																					
		サブターゲット																							
		ターゲットが抱える課題		国民健康保険料の賦課・徴収を適正に行うことで、公平性を確保する必要がある。																					
		ターゲットが抱える課題																							
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		全被保険者に賦課される保険料を適正に徴収することで、公平性が確保され、保険事業が円滑に行っている。																							
事業概要		国民健康保険料の算定・賦課、加入・脱退手続、保険料収納事務等を執行。																							
2. ロジックモデル及び指標設定																									
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)															
						国民健康保険料を徴収する。				被保険者に対して保険料を賦課する。															
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)															
		指標説明						国民健康保険料徴収率				被保険者数													
		指標種類		単位				単位		%		単位		人											
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5							
		目標(見込み)										93		93		93		93							
		実績										93		94											
達成度						101%				101%															
分析						SMSによる納付督促や口座振替勧奨の効果に加え、分母である調定額がコロナ減免により減少したことなどによる増と考えられる。				社会保険への加入や後期高齢者医療への移行による減。															

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	20.15
任期付職員	3.20
会計年度任用職員	6.33
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	158,672	152,507	172,239		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	16,844	20,725	17,078		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	175,516	173,232	189,317		
	物件費計	230,288	247,199	202,267	238,735	85%
	歳出計	405,804	420,431	385,993		
歳入	国庫支出金	4,921	131,990	1,775	0	
	府支出金	18,421	214,048	496,852	274,433	
	受益者負担(使用料・手数料)	23,666	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	1,056,895	977,845	981,913	
	歳入計	47,008	1,402,933	1,476,472	1,256,346	
	一般財源	358,796	▲ 1,155,734	▲ 1,274,205	▲ 1,017,611	

5. 総括的分析

総括的分析 昨年度から引き続き新型コロナウイルス感染症による減免措置の対応するとともに、差し押さえなどの滞納処分を積極的に行った。キャッシュレス決済では新たにPayPayを選択肢に加えた他、携帯電話などのショートメッセージサービス(SMS)を活用して納付忘れに対する確認メッセージを配信する取り組みを本格実施した。また、保険料の納付忘れに効果のある口座振替の登録者数を伸ばすため、インセンティブを付与する勧奨を行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	債権回収課が拡充されたことに合わせ積極的に債権移管を行い、当課においても催告書の送付や差し押さえなどの滞納処分を行う。また、口座振替を勧奨する事業を継続して実施するなど、保険料収納率の向上に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	国民健康保険給付事業								
測定年度	2021(R3)年度			部	市民生活部		課	国民健康保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち						
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち						
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业		区分	非選択的業務事業				
事業期間	不明			年度	~		年度まで			
根拠法令等	国民健康保険法、枚方市国民健康保険条例									
関係補助金名称					サンセット					
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット	75歳未満の市民で他の医療保険の被保険者・被扶養者でない人(生活保護受給者を除く)								
	サブターゲット									
	ターゲットが抱える課題	被保険者の疾病、負傷、出産及び死亡等に対して適正な保険給付を行う。								
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	加入者に対する医療給付を行うことで健康の保持増進が実現できている									
事業概要	医療機関から国保連合会を経由して提出された診療報酬明細書(レセプト)について、縦覧点検等を行った後、国保連合会を通じて診療報酬を支払う。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
					適正に診療報酬を支払う。				レセプト点検等給付審査を行う。			
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	指標説明				被保険者一人当たり財政効果額 【算出式:資格・内容点検過誤調整額 ÷ 平均被保険者数】				レセプト点検等給付審査件数			
	指標種類				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	単位				円				件			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)				2,350 2,350 2,350 2,350				1,400,000 1,400,000 1,400,000 1,400,000			
	実績				2,080 2,086				1,259,283 1,298,636			
達成度				111%				107%				
分析				受診控えに加え、本市のコロナ関連レセプトの再審申し出に対する連合会での原審が継続されていることから、低調維持となった。				新型コロナウイルス感染症による受診控えが続く中、コロナ受診の増加が影響したと考えられる。				
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
					第三者求償事務が円滑に行える				第三者行為事案の発生を早期に把握する			
指標設定②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	指標説明				被保険者1人当たり財政効果額 【算出式:第三者行為求償額 ÷ 平均被保険者数】				傷病届が早期に提出された割合 【算出式:国保利用開始日から60日以内の傷病届の提出数/傷病届の全提出数*100】			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	単位				円				%			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)				600 600 700 700				- 43 44 45			
	実績				648 468				- 41			
達成度				78%				95%				
分析				1件あたりの求償額が少なかった。				傷病届提出についての周知広報に課題がある。				

ロジックモデル③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
					被保険者全体における後発医薬品の使用割合が伸びる				後発医薬品の使った場合の差額通知を行う							
指標設定③	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
	指標説明				後発医薬品の使用割合				差額通知を行った対象人数							
	指標種類				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標							
	指標数値				R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込)								80	80	80	80.50	1,500	1,000	697	670
	実績								75.70	77			1,563	1,008		
達成度				96%				101%								
分析				使用割合を伸ばすには差額通知の送付対象を抽出条件の検討が必要と考えられる				前回送付した者を対象から省いたことで、大きく減少した。								

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	8.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	4.08
特別職非常勤	1.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。

4. 決算額

(千円)

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	69,635	69,481	67,570		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	8,720	8,685	12,506		
	特別職非常勤	—	240	240		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	78,355	78,406	80,316		
物件費計	40,449,905	38,908,232	37,076,719	38,716,286	96%	
歳出計	40,528,260	38,986,638	37,157,035			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	29,164,869	28,258,154	28,707,066	30,332,359	
	受益者負担(使用料・手数料)	7,672,067	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	305	10,394,341	10,242,132	10,974,228	
	歳入計	36,837,241	38,726,889	38,949,198	41,306,587	
一般財源	3,691,019	181,343	▲ 1,872,479	▲ 2,590,301		

5. 総括的分析

総括的分析 主な保険給付状況:療養給付費24,186,420千円、療養費339,301千円、出産育児一時金96,172千円
ジェネリック差額通知を年3回送付した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	レセプト点検等の効率向上に取り組み、適正な保険給付に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称													国民健康保険課運営事務												
測定年度				2021(R3)年度				部		市民生活部				課		国民健康保険課									
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4															
総合計画体系		基本目標		9.施策体系外																					
		施策目標		99.施策体系外																					
		実行計画名																							
1. 事務事業の概要																									
種類		内部管理				特性				庶務的事務				区分			庶務的内部管理事務								
事業期間		不明				年度		~						年度まで											
根拠法令等		決裁																							
関係補助金名称						サンセット																			
関係附属機関名称																									
事業対象		メインターゲット		国民健康保険課に在籍する職員																					
		サブターゲット																							
		ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある																					
		ターゲットが抱える課題																							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		課の運営が円滑に行われる																							
事業概要		課の運営事務																							
2. ロジックモデル及び指標設定																									
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
		指標説明		単位		単位		単位																	
		指標種類																							
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5										
				目標 (見込み)																					
		実績																							
達成度																									
分析																									

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	4.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.80
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	-	32,999		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	-	-	2,287		
	特別職非常勤	-	-	0		
	附属機関委員	-	-	0		
	人件費計	-	-	35,286		
	物件費計	-	-	3,342,483	4,140,106	81%
	歳出計	-	-	3,377,769		
歳入	国庫支出金	-	-	0	0	
	府支出金	-	-	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	-	-	0	0	
	市債	-	-	0	0	
	その他	-	-	309,239	329,146	
	歳入計	-	-	309,239	329,146	
	一般財源	-	-	3,033,244	3,810,960	

5. 総括的分析

総括的分析 予算・決算、契約、文書管理、システム保守等の庶務事務を行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	大阪府との調整も含め、遺漏なく処理できるよう執行体制を整えていく。